

2022年7月5日発行

22-27号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**自分の居場所**

　家でも職場でもない第3の居場所「サードプレイス」ということばをご存じでしょうか。日常のしがらみから放たれ、自分らしくいられる場所のことだそうですが、そのような場所に出会うにはどうしたら良いのかという記事がありました。

　高度成長期の会社は、家族的・軍隊的でモーレツサラリーマンがたたえられ、個性はあまり認められていなかったのですが、ここ最近、転職も増え、副業も認められるようになったところにコロナ禍になり、自分らしい生き方はなにかを考えるようになって、できてきたのがサードスペースだと、エッセイストの潮凪（しおなぎ）洋介さんが言われています。また、サードプレイスを研究している法政大大学院政策創造研究科の石山恒貴教授は、リタイア後の人生が長くなったことが、居場所への関心が高まった一因だと言われています。

　実際に、自分の好きな場所を見つけた人の話が出ていました。その人は、ある料理屋でおいしい日本酒を飲んだことがきっかけで、ブログを書き、「日本酒をたしなむ会」を作り、仲間と集まるようになったということです。その会は、単純に集まってお酒を飲んで楽しむだけなので、名前も職業もわからない人もいて、とても気楽なので、自分にとっては貴重なサードプレイスになっていると、言われています。このようなサードプレイスが理想だということですが、どのようにしたら、そのような場所を見つけられるのか、５つのコツを紹介してありました。①雑誌やテレビ、SNSで「いいな」と思った店や施設に、素直に行ってみる。②〇〇教室やカルチャーセンターのような学びを提供する場は、目的が同じ人が集まるので、仲間を作りやすいから、そのような「学びの場」に参加してみる。③友人・知人・同僚の「居場所」に連れて行ってもらう。自分だけでは見つけられないジャンルに踏み込むきっかけになる。④全国各地にある専門スキルを活かしたボランティア活動（プロボノ部）に参加してみる。⑤行動をすべて自分で決める「完全一人旅」を経験して、自分の好きなことを発見してみる。これらを通して、居場所を見つけてみようということです。（７月５日AERAdot. “いいな”に素直に！　自分を解放する「大人の居場所探し」5つのコツ〈週刊朝日〉より）

会社の「私」でも家の「僕」でもない、自分「俺」でいられる場を見つけるために、いろいろ参加してみて、しがらみを感じたら、即、そこから離れて、自分に合う場所を見つけたら良いということでした。「自分らしくいることができる場」というのは、いったいどんな所なのでしょうか。どこに行っても、自分は変わらないので、しばらくの間は良くても、そのうち、同じ人間関係の問題や、自分自身の中から出て来る問題で、居づらくなって、次の居場所を探すようになるのではないでしょうか。次に探し始めるまでの期間が長いか短いかの差があるだけのように思います。自分はどんな人間で、どういう場所がいちばん自分らしいのかを知るためには、まず、自分を客観的に見る目が必要です。自分のいままでの人生や、人からのことばで自分を見ようとしておられますか。実は、それでは正しく見ることはできないのです。あなた自身を正しく見て、あなたのほんとうの居場所を見つけるために、まったく新しい視点があることをお知らせしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください